



サンバー限定モデル計画、始動。⑤

長い歴史を誇る実車とミニカー・ブランドのコラボレーションとは？



黒い台座にはプレートが貼られ、そこには1から1,000までのシリアル・ナンバーが入るダイヤベットのサンバー WR BLUE LIMITED。写真は、そのナンバーが入る前の市産モデル。

元はと言えば昨年のこと、ダイヤベットのカタログにスバル・サンバーがラインナップされた事から全ては始まりました。そこに掲載された新作のサンバーは1/36スケール。ノーマル／幌付きの軽トラック、そしてバン屋さん仕様とラーメン屋さん仕様の全3アイテムが揃います。そして、ちょうどそ

のタイミングと前後して、デビュー50周年を迎えたサンバーが、その長い歴史にひとまずの終止符を打つ事が決定したのです。そしてWRブルーと呼ばれる特別カラーをまとった最後の限定モデルの市販も始まりました。

そんな実車世界の動きを見ながら、ミニカーの世界でもささやかながらサ

ンバーの、そして富士重工の長い軽自動車に歴史に敬意を表して、何かしらのアクションが起こせるといいですね、などと話していたダイヤベットの担当者と編集部スタッフとの会話から実現した、ダイヤベットのサンバー最終モデル、それがこの"SAMBAR WR BLUE LIMITED"なのです。

ダイヤベットとしては久々の限定モデルで、実車同様1,000台の限定生産。台座に貼られたプレートには、1から1,000までの通しナンバーが刻印されます。弊社のWebサイト「ホビダス」担当のF君が、アガツマさんに無理を言ってネット通販用に若干数を確保してもらった話題は先月号でもお伝えしましたが、残念ながらこちらにも既に完売しております。メーカーさんでも既に全数出荷となっているそうなので、あとは店頭在庫のみ。ありがとう、さようならサンバー、という我々のささやかなエールが、ミニカーという形で少しでも伝わったとしたら本望です。



市販モデルのパッケージ。通常品とは異なるシックなデザイン。裏面には歴代のサンバーの歴史が紹介されている。¥5,250(税込)



左はモデル・カーズ別冊「はたらくクルマ コマーシャル・ビークル」。巻頭はサンバーの歴史が一目瞭然の一大特集。お求めは全国書店または弊社営業部まで。定価 ¥2,000(税込)